



学校だより

# 黄 菊

令和7年7月23日  
立川市立第七小学校  
校長 島村 雄次郎

《本校の教育信条》『我等は人間 よき人間でありたい』武者小路 実篤先生より

## 通知表から広がる対話、夏休みだからこそできる体験を！

校長 島村 雄次郎

本日、1学期の終業式を迎え、子どもたちは待ちに待った夏休みに入ります。この1学期、子どもたちは本当に多くのことに挑戦し、それぞれの持ち場で大きく成長してくれました。本日お渡しした通知表は、子どもたち一人ひとりの努力と成長の証です。担任の先生方、そして各教科の専科の先生方が、日々の頑張りを心を込めて評価しました。1学期の個人面談では、すでにお子さんの「これから伸びていってほしいこと」についてお話ししましたので、ご家庭でも引き続きその点について話し合い、2学期に向けての目標に繋げていただければ幸いです。

この通知表は、単なる「成績表」ではありません。私たちは、お子さんの1学期の頑張りや成長をご家庭でじっくりと話し合うための「対話のきっかけ」として活用してほしいと強く願っています。限られたスペースでは、子どもたちの個性や日々の努力のすべてを伝えきることはできません。目には見えにくい小さな努力や、知識だけでは測れない大切な力が、実はたくさん隠されています。

今日、お子さんが持ち帰った通知表をぜひ一緒に広げ、1学期の出来事についてたくさん話を聞いてあげてください。「『よくできる』が〇個あったね！」と結果を褒めることももちろん大切ですが、それ以上に「〇〇なところを頑張ったんだね」「これはお家でずっと努力してきたから、必ず伸びるよ」といった、結果に至るまでの努力の過程を温かく認めてあげてください。通知表を囲んでの親子の会話が、お子さんの自信を育み、次のステップへと踏み出す大きな力となることを心から願っています。通知表の「行動の記録」欄には、あいさつや準備・片付けといった基本的な生活習慣、約束やきまりを守る態度などを評価しています。生活や行動の基盤が安定することで、子どもたちは学習にも落ち着いて取り組む余裕が生まれます。こうした基本的な行動が身に付くことが、良い学習サイクルを生み出し、着実に力を伸ばしていくための大切な土台となります。

明日から始まる夏休みは、子どもたちにとってかけがえのない時間です。この長い休みをどのように過ごすか、ぜひご家庭で計画を立ててみてください。規則正しい生活リズムを保ちながら、普段できない体験に挑戦したり、心と体をゆっくり休めたり、充実した時間を過ごしてほしいと願っています。2学期は9月1日（月）に始まります。長いようで、あっという間に過ぎ去るのが夏休みです。だからこそ、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。夏休みは、普段の学校生活ではなかなかできない、貴重な体験ができる絶好の機会です。家族旅行、地域のイベントへの参加、自由研究に没頭する時間、新しいスポーツへの挑戦、読書に親しむ時間など、多様な選択肢があります。ぜひ「夏休みだからこそできること」を見付けて、積極的に体験させてあげてください。きっと、子どもたちの心に深く刻まれ、かけがえのない財産となることでしょう。

夏休み明け、心も体もひと回り大きく成長し、元気いっぱいの笑顔で登校してくる子どもたちに、また会えることを職員一同、心から楽しみにしています！

### 《夏休み期間中のご連絡》

夏休み中も学校には日直があります。何かありましたら 8:15～16:45の時間でご連絡または、ご来校ください。

ただし、8月8日(金)から8月15日(金)は学校閉庁日です。9:00～16:30の間で、管理員のみ学校にいます。お電話でのお問い合わせは対応しておりません。メールはご利用いただけます。

【緊急の場合（閉庁期間中）】

立川市役所 042-523-2111（代表）

1, 2年生に、筑波大学の教授から「ことばのテストえほん」に関する調査研究協力依頼がありました。本日配布したお知らせのQRコードからアクセスしていただき、お子さんと一緒にアンケートに答えていただけると幸いです。詳細は「調査研究協力のお願い」をご覧ください。